

主要事業評価シート(第2次実施計画 / R1・2・3年度)

基本事項	計画コード	事業名		部名	産業建設部
	17034	多面的機能発揮促進事業		課名	産業振興課 農業G
	施策の大綱	01:快適さを支える生活基盤の向上	財務科目	会計	01:一般会計
	基本施策	08:自然との共生		款	06:農林水産業費
	施策の方向	02:森林・里山・農地の保全		項	01:農林水産業費
戦略プロジェクト	-	目		03:農業振興費	
事業予定期間	H 27 ~ R - 年度	主な根拠法令要綱等		農業を有する多面的機能の発揮の促進に関する法律	

目的・概要	対象	農業者のみ又は農業者及びその他の者で構成する活動組織
	目的	地域資源の基礎的保全活動(農地法面の草刈、水路の泥上げ及び農道の路面維持等)や地域資源の質的向上を図る活動(水路、農道等の軽微な補修及び景観形成等の農村環境保全活動等)に取り組む活動組織に補助金を交付することにより、農業・農村の多面的機能の発揮を促進する。
概要	概要	地域資源の基礎的保全活動、質的向上を図る活動に取り組む活動組織に、活動内容及び対象農用地面積に応じて補助金を交付する。

		令和元年度	令和2年度	令和3年度	
事業の計画・実績	年度計画	補助金の交付 ・活動組織数 16組織 ・活動面積 462ha (補助率:国2/4 県1/4 市1/4) ・推進事務 1式 (補助率:国10/10)	補助金の交付 ・活動組織数 16組織 ・活動面積 462ha (補助率:国2/4 県1/4 市1/4) ・推進事務 1式 (補助率:国10/10)	補助金の交付 ・活動組織数 16組織 ・活動面積 462ha (補助率:国2/4 県1/4 市1/4) ・推進事務 1式 (補助率:国10/10)	
	年度実績	○補助金の交付 ・活動組織数 14組織 ・活動面積 391ha ・(補助率:国2/4 県1/4 市1/4) ・推進事業費 (補助率:国10/10)			
事業の計画・実績	計画額	事業費	16,100千円	16,100千円	16,100千円
		国庫支出金			
		県支出金	12,070千円	12,070千円	12,070千円
		地方債			
		その他			
	予算額	事業費	14,300千円		
		国庫支出金			
		県支出金	10,631千円		
		地方債			
		その他			
	決算額	事業費	14,150千円		
		国庫支出金			
		県支出金	10,638千円		
		地方債			
		その他			
人件費	一般財源	4,030千円	4,030千円	4,030千円	
	総人件費	1,962千円	0千円	0千円	
	一般職員	1,962千円	0千円	0千円	
	所要人員	0.25			
	会計年度任用職員等	0千円	0千円	0千円	
総コスト(+)		16,112千円	0千円	0千円	
受益者負担率		0.0%	0.0%	0.0%	

				令和元年度	令和2年度	令和3年度	
指標	名称	活動組織数	活動	計画値	16	16	
		本事業に取り組む活動組織数		実績値	14		
				単位	組織	組織	組織
	名称	対象農地面積	成果	計画値	462	462	462
		農地・水路・農道等が適切に保安全管理されている農用地の面積		実績値	391		
				単位	ha	ha	ha
名称			計画値				
			実績値				
			単位				

事業の改善	前回評価	<p>【前回評価の対応方針の概要を記入】</p> <p>事業のPR、地域への説明会で新規の取組地域を増やすとともに活動が5年間経過する地域の継続を促す。</p>
	改善行動	<p>【前回評価の対応方針を踏まえ、どのような措置を講じたか】</p> <p>5年目を迎える地域組織の役員の新規認定継続について説明を行なった。新規地区組織の加入斡旋については水利組合代表や自治会役員等3地区に説明会を行なった。一自治会には、役員に説明を行ない、出前講座を開催した。</p>

		評価	(判定)
事業の評価	活動	<p>【計画どおりに実施できたか】</p> <p>新規組織地区の加入は出来なかったが、5年目を迎えた組織の再認定継続が出来た。</p>	<p>B</p> <p>まずは実施できた</p>
	成果	<p>【成果は順調に上がったか】</p> <p>継続組織地区の役員には、現在の区域面積の拡大を依頼したが、拡大してもらえる地区は無かった。一方で前年度は、5年の期間内で区域面積の縮小の申出があったが、当年度については年度途中で変更することは無く、順調に行えた。</p>	<p>B</p> <p>まずは成果を得た</p>

今後の対応方針	課題	<p>【課題は何か】</p> <p>5年目を迎えた地区組織が継続時に、役員に説明に行く地区組織メンバーの高齢化により継続が難しくなっているとの内容の話が良く出る。また、獣害被害により、収量の減少のために耕作が難しくなっていることもあり。</p>	<p>今後の方向性</p> <p> <input type="checkbox"/> 拡大 <input checked="" type="checkbox"/> 現状維持 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> その他 </p> <p>【その他の場合、その内容を記載】</p>
	対応	<p>【課題に対し、どのように対応するか】</p> <p>再認定継続のために、認定農業者の方による農地集積や営農組合により継続を指導している。また獣害被害については、農地の維持保全のため、有害獣被害防止補助金を有効に利用して欲しいと説明を行なっている。農地維持支払交付金、資源向上共同支払交付金の有効活用により農地、農道水路等の農業用施設の管理がより進められるよう新規地区を増やせるようPRすると共に出前講座も積極的に進める。</p>	
	効果	<p>【対応することで、どのような効果が期待できるか】</p> <p>認定農業者による農地の集積や、営農組合の加入により地区内の農地の維持が出来る。また多面的機能支払農地維持交付金、資源向上共同交付金の有効活用により農道、水路等農業施設の長寿命化、荒廃地の防止となる。多面的機能支払の事業のPRを水利組合、自治会に進めると共に出前講座も積極的に行うことにより、市内農地の荒廃地を防止につながる。</p>	
	対応時期	令和2年度	

【1次評価者】	産業建設部 産業振興課 農業グループリーダー 村澤 亮
【最終評価者】	産業建設部 産業振興課長 富田 真左哉

(参考:前期基本計画期間(H29-R3)における評価履歴)

		H29	H30	R1	R2	R3
判定	活動	B	B	B		
	成果	B	B	B		

令和元年度予算額(事業費)の内訳

予算額(事業費)		14,300 千円
内訳	平成30年度からの繰越額	千円
	令和元年度の最終予算額	14,300 千円
	令和2年度への繰越額	千円